

核データ・グループ 第2回会合議事録

I. 40年度の計算に関する諸問題の討議

日 時 1966年4月22日(金) 午前10時~12時

場 所 原研東海研 仮会議室

出席者 神田, 八谷, 中村, 中島(豊), 立花, 中島(龍)

議 事

- 1 昭和40年度7044の割当時間消化が十分でなかった。
 - シグマ委員会の仕事として利用する人がなかった。
 - 核データグループがevaluationの仕事が委員以外の外部の人に委嘱する、というシステムを考えたらどうか。
- 2 Atta-Harvey コードのFORTRAN II よりNへの書き換え及び改良コード作成の経過と今後の取り扱いについて立花, 中島(豊), 更田氏が一応相談して次の機会に正式に報告することになった。
- 3 今迄の成果の公表
 - 今後核データグループとしてはevaluationの問題に, 7044の計算割当時間と関連して真剣にとりくむ必要がある。その際の成果の公表に関して討議された。

II 核データ・グループの計算に関する

昭和41年度実行計画案

日時 1966年4月22日(金) 午後1時～5時

場所 東海研 仮会議室

出席者 塚田, 中島(龍), 八谷, 立花, 中島, 中村, 田中, 神田, 更田

議事

○ 午前の会議欠席者に, 午前の討議内容の説明があった。

I 新しい計算コードのプログラミング計画提案

資料の3) 「Moldauer 流の断面積計算コード」説明

参考資料 ANL-6978(64)コピー配布

NEARREX のエネルギー範囲を拡張したい。

意見

1) の resname 領域を進めながら, 3) として NEARREX が計算出来るかどうか並行して進める。

NEARREX を通してみる。

1) の人々と NEARREX を読む。

7970 or 7044 で通すか。

NEARREX に 20 ± 10 万円(1)を作る時に subroutine として利用することを考える。

結論

NEARREX を 7044 で通してみても問題点を明確にする。

code の検討会及び物理的内容検討会をもつ。

7044 と並行して 1) との関連を考えて 7090 で通す(30万)

担当 田中。 7090 を使う時は, 八谷, 五十嵐, 神田が協力する。

1) 「共鳴領域を含む高エネルギー領域での断面積計算コード」

意見

考え方自身を検討する必要がある。

OPTIC: optical level + one level formula の code ある。

man power の問題がある。

OPTICのmanual. をとってみる。

linac の人々および岡本, 浅見氏らにも検討してもらおう。

結論

種々意見があるので12日に五十嵐氏出席の時に説明を求める。

OPTIC の manual を入手して検討する。

2) 「高エネルギー領域での中性子核分裂断面積計算コード」説明

参考資料	{ 計算案	} 配	
	{ Erba et al.; Energia Nuclear 12(65)(26)コピー		} 布
	{ Erba et al.;		

意見

○ Evaporation Approximation

semi-empirical な面が強いのではないか。

計算する目的がはっきりつかめない。

U²³⁵ 以外では合うかどうか。

Erba et al. に間に合わせてはどうか。

競争過程としての計算に使えるか。

応用性, 普遍性があるか。

○ Unified Model

結論

Evaporation Approximation Model の方は Erba et al. に問い合わせて, 他の核種でも合うかどうか。T(E)の物理的意味を聞く。

上の問題を検討してから決める。

予 算

- 1) 100万
- 2) 100万
- 3) 30万

II 既成コードの変更事項

ELIESE-2	目下変更中	} 報 告
STEVE	変更事項ない	
RACY	少々変更事項あり	

III 既成コードによるプロダクション

STEVE-1-2-3

RACY

内容、現状を報告

共鳴パラメーター、サーチ・プログラム

7090→7044に書きかえ必要

次回 5月12日

各既成コードの報告

41年度実行計画予算をはっきり決める。